2012 J.League Division2
第１節 ガイナーレ鳥取 戦

3/4（日） 15:00～
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

ＦＣ岐阜大好き通信（岐大通）
3/4号
編集発行：『岐大通』製作委員会
今号の製作担当：
ささたく＆吉田鋳造

today's guest：ガイナーレ鳥取　2011 J2 8勝 7分 23敗　勝ち点 31：第 19位

米子を本拠としていた『鳥取教員団』が母体。『SC鳥取』として 2001年から JFL参加。中位～下位に低迷していたが、本格強化を始めた 2008年、 2009年は 5位。そして 2010年に 2位と勝ち点 15の差をつけて JFL優勝し、昨年より J2。昇格 2年目の今年はコスタリカ代表経験者 2名を獲得して驚かせた。うち、FWのクニンガムは 2/29（国際Aマッチデー）の親善試合（ウェールズ代表戦 @カーディフ）に招集され 3/2帰国予定（鳥取公式サイトより）。また、 2008年から４シーズン在籍した FWハメドの退団が発表された。今年から吉澤英生氏（Honda、琉球、松本を指揮）が監督に就任。（吉田鋳造）

毎シーズン、開幕戦は今年１年を占う大事な試合だが、今年は更に重要な一戦だ。
昨シーズンは不本意な成績となり、監督・コーチや 12名もの選手を入れ替えた「新生」FC岐阜。初戦の相手は、昨シーズン 19位（岐阜は 20位）だったガイナーレ鳥取。
降格制度が導入されるということもあり、絶対に叩いておきたい相手だ。しかも今年の FC岐阜に新加入した、服部年宏・梅田直哉・多田大介の３人は、昨年は鳥取に在籍していた選手。彼らの古巣相手の活躍に期待したいが、一方の鳥取も、「彼らには負けたくない」と闘志を燃やしてくるだろう。偶然にもチームカラーも同じ「緑」の両チーム、お互いの意地がぶつかる戦いだ。
また昨年の岐阜は、守備の脆さから失点を多く許したが、補強や行徳新監督の指導により、どこまで守備の立て直しが出来ているのか、あるいは開幕スタメンは誰になるのか等にも注目したい。（ささたく）

Looking back 2011

第２節　06/29　@とりぎんバード
1-1　得点：佐藤

東日本大震災によって延期、水曜開催となった試合。岐阜は前の試合は土曜日、鳥取は日曜日だったために状態は岐阜の方がよかった。しかし、先制するもセットプレーから追いつかれ、結局はドロー。内容的にも双方ともに低調な試合だった。

第 26節　08/27　@長良川
2-3　得点：西川・押谷

前半で 2-1として『楽勝』に近いムードだったのだが、その内容を分析してキッチリ修正して逆転まで持っていった鳥取。岐阜はすべてが後手にまわる。個人的には「今年の岐阜はこのままずっと最下位だ」と確信した試合だった。（吉田鋳造）

2011J2

■ 2011シーズンの対戦成績■

甲府	（J1より降格）				
福岡	（J1より降格）				
山形	（J1より降格）				
徳島	0勝	0分	2敗	得点１	失点５
東京Ｖ	0勝	0分	2敗	得点１	失点６
千葉	0勝	0分	2敗	得点１	失点５
京都	1勝	0分	1敗	得点４	失点５
北九州	0勝	0分	2敗	得点３	失点６
草津	0勝	0分	2敗	得点２	失点５
栃木	1勝	0分	1敗	得点１	失点１
熊本	0勝	1分	1敗	得点２	失点３
大分	0勝	0分	2敗	得点１	失点３
岡山	1勝	0分	1敗	得点３	失点４
湘南	0勝	0分	2敗	得点１	失点８
愛媛	0勝	1分	1敗	得点１	失点３
富山	0勝	1分	1敗	得点１	失点２
水戸	2勝	0分	0敗	得点４	失点２
横浜 FC	1勝	1分	0敗	得点５	失点４
鳥取	0勝	1分	1敗	得点３	失点４
岐阜					
町田	（JFLより昇格加盟）				
松本	（JFLより昇格加盟）				

◇ PSM岐阜 1-0磐田

●新チームになってから、初めて選手たちがボールを蹴るところを見る機会になったが、正直想像以上の出来。ただ何となく試合をしていた感のある去年に比べて、この試合ではチーム全体から統一された意思のようなものを感じることができた。しかも自由を与えられた去年より、なぜか選手はのびのびプレイしてるように見えた（笑）。本当の規律というのは、選手を縛るものではなく、動きを正しい方向に導くガイドレールのようなものかもしれない。
そして選手で目を引いたところを何人か挙げていくと、まずはさすがの服部年宏。守備時の危険なところを潰すポジショニングや周囲への指示など、今までの岐阜のボランチとはちょっとレベルが違う感じ。それは去年フル出場がほとんど無かった三田が無理なく 90分出場したことに現れていると思う。（同時に昨年はいかに三田１人に守備の負荷がかかっていたか、ということもわかる）
攻撃では点を取った関田はもちろんいいとして（あの一撃で 25番のレプユニの売り上げは相当上がるんじゃないか）、井上、廣田、染矢が良かった。井上は前線でキチンとボールを納めてくれ、廣田はフィジカルがまだ足りないけど基礎技術は高いし、前線からの守備もサボらない。そして染矢はただ走るだけだったプレースタイルからの脱皮を図っているような、そんな気がした。
褒めすぎなような気もするが、対戦相手の磐田が代表や怪我で飛車角桂馬香車落ちくらいの布陣で、開幕直前ということであまりガツガツ来なかったことを差し引いても、十分今季のＦＣ岐阜に期待を持たせる内容だったと思う。出来は悪くても磐田は磐田、そして勝ちは勝ち。若い選手には自信になったと思う。
だがあくまでＰＳＭはＰＳＭで、本番じゃない。この試合で見せた変化の片鱗が本物だということを、まだ少し疑ってる僕に今日の試合で示してほしい。（@kumakuncj）

※ PSM磐田戦は、まだまだ続きます！→→→→→

Living in Woods
本庄工業株式会社
http://www.honjo-woodream.com/

ALADDIN
何も無い店だけど・・
心の花が咲く・・
何も無い店だけど・・・
心　癒される・・
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町３丁目（木ノ本公園東）

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩３分。
休：日曜日（今日はお休みです）
名鉄
ＪＲ

投稿募集！
gidaidohr@hotmail.co.jp

次回 HomeGame
第 3節 ザスパ草津戦
3/17（土） 16:00
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

（ＰＳＭ：磐田戦の続きです）

●新加入の選手についてはほとんどわからない状態で迎えたPSMジュビロ磐田戦。行徳監督がテレビのインタビューに答えていたとおり4-4-2の陣形だ。しかもフラット。これには少々驚いた。
三田が守備に意識を置き、服部は攻撃のことを考えつつプレーしているように見える。最終ラインとキーパーの間のスペースが少々心許ないのは去年からの流れではあるけれどそれでも中盤はJ1相手によくファイトしていたと思う。そして得点シーンのセットプレー、ゴールに向かって巻いてくるボールにウチの選手が次々と飛び込んでいき最後に関田のヘッドで得点、という一連の動きはよく準備されたものだったように感じられた。
修正点もまだまだあるだろうけど開幕にむけて収穫の多い試合だった。（ST57）
●「行徳ギフ！」選手紹介の後、監督が紹介された時、新コールリーダーから発せられたのは、いつもの「ＦＣ岐阜」コールではなく、監督コールの合図。「ほほぉ」思わず呟いたと同時に今年はＦＣ岐阜というチーム変わって欲しいという期待を感じた出来事。
もちろん、コールリーダーだけではなく、サポーター、スポンサー、チーム関係者、ＦＣ岐阜を愛するみんなが変わって欲しいという期待（いや、もっと切実な祈りというべきか？）はしていて、ある程度はそれに応えたのが今回のPSMだったのではないかと。
なんだかんだ言ってもホーム長良川で勝つのはいい。それが公式戦でなくても、ぐだぐだな磐田でも。そんな気持ちになった試合でした。
あと、今年から「We are Gifu」というコールを使う事について。これはサポーターもスポンサーも選手もみんなが主体的に、かつ仲間としてＦＣ岐阜と共に戦っていくぞという想いを現す一歩踏み込んだ深い意味のあるコールだと思う。（緑の小太鼓）
●注文はいくつかあるけれども、とりあえず守備に対する意識改革が伺えたし、劇的なゴール、しかもセットプレーからの決勝点でホームでは久しぶりの完封勝ち。そして、PSM初勝利。どうやら、今季はアマチュアレベルやそれ以下の試合を見るようなことはなさそうだ。
さて、試合の内容については他の投稿者の方にお任せし、スタジアムの変化についての感想を少し。
昨季との大きな違いは、再入場口が設置されたこと。これによって岐阜の見せ所のひとつである屋台村を開場前から堪能できるようになった。フロントの英断だと思う。もともと、サッカーという競技は野球や相撲と違って、いったん試合が始まるとなかなか席を立ちづらい。だから、屋台の売上もキックオフ前のそれが全体のほとんどを占めているんじゃないだろうか。さらに、自分の経験からすると一番ビールや食べ物がほしいのは開場前の待機の時。入場してからは以外とやることがあるし、何よりタスキの中で声を出して応援する身としてはできるだけ早めに腹ごしらえをして、少しでも早く消化させたい。歳を取ると消化するのも大変だし、おなかに溜まったままじゃ声を出すのも跳ねるのも苦労する（苦笑）。
さらに、メモリアルセンターではＦＣ岐阜の試合以外のイベントも同時進行で開催される。野球場やテニスコート、で愛ドームなどの観客も立ち寄ることができれば出店する側のメリットも大きいのではないだろうか。いつもなら、終了後にダンピングするお決まりの光景があるけれど、少しでも多く正規の値段で売れた方がいいだろう。どの試合の観客だろうと購入してくれれば、お店にとってのお客さんには違いない。もしかしたら、サッカーには興味のなかった人が何人かに一人、とは言わないまでも何百人かに一人は試合を見にきてくれるかもしれない。
実際、ボクの周りでも思った以上に岐阜の試合結果や今季の見込みが話題になることが多くなっているように思う。観客動員やクラブの財政に即効性のある施策ではないけれども、地元の観客が増えることが何より大事。たとえ、Ｊ１に上がって千人単位でアウェイサポが来たとしても、年に数試合じゃたいした意味合いはないような気がする。再入場のチェックなど手間は増えるが、メドウの時のノウハウを活かして恒久的に続けてほしい。できることからやっていこう。
昨シーズン途中からそういう意見を耳にし、自分でもそう思っていたのでサポーター・ミーティングなどの機会にお願いもしてみた。クラブのスタッフ内にも同様の意見があったことも幸いして、サポミでの要望が取り入れられたのはありがたいことだ。関係者の方々に感謝するとともに、これからもみんなの意見を交換し合って幸せで楽しいスタジアムを作っていくクラブにできたら……と思うのだ。（ぐん、）

●テレビの全国放送でも取り上げられた台湾キャンプ（台中市の皆さん、ありがとうございますっ）から戻ってきてからのTMは見事に全敗だったそうだ。別にTMだから結果には拘らなくてもいいのだけど……と思いながら、観に行ったPSM・磐田戦。
いやあ、こんなにワクワクしちゃっていいのかしら。センターに入った新加入の池田昇平と服部年宏の、これまでのFC岐阜のレベルを超越してて。前半５分だかの服部→染谷のロングフィード一発の精度には腰が抜けた。あの１本のパスでサポの心を掴み取ったね。池田とペア組んだノガはバタつかないし、ボランチで服部と組んだヒカル、昨年は後半途中で確実にカラータイマーが点滅どころか点灯する感じだったのに、90分動けていた。コンパクトな２ラインもキチンと出来てたし、守備面は大きく前進したように見えた。
問題は攻撃。右は明弘の上がりで仕掛けも作れるのだけど、左からの攻撃はほぼ“なし”。でも、監督とコーチが替わって選手の多くも新加入、守備も攻撃もオフシーズンのわずかな時間に構築するのは無理ってもの。行徳新監督が「まずは守備」と手をつけたのは大正解だと思う。
ただ、この結果をもって「これなら最下位はないだろう」と考えてしまうのは危険だ。昨年のFC岐阜があまりにあまりな悲惨極まりない状況だったトラウマが作用してか、どうしても今年のFC岐阜を『昨年のFC岐阜』と比較してしまう。たしかに、昨年よりはかなり“戦えそう”な状況になってるのは認めるが、昨年のFC岐阜は20チームで争うＪ２リーグにおいて『19位争い』すら出来なかったのだ。今年、ぼくらが戦う相手は他のJ2クラブであって、『昨年のFC岐阜』と戦うわけではない。（吉田鋳造）

【ユース】2012年度の活動について

今年も我らがＦＣ岐阜ユースＵ－１８（以下ＦＣ岐阜ユース）の情報を収集・拡散していきますので、宜しくお願いします。
まずは新コーチ就任について。ＦＣ岐阜の公式サイトでも既報ですが、昨年までトップチームの選手だった池上氏が今年からＦＣ岐阜ユースのコーチに就任しました。風の噂ではユース選手達とのコミュニケーションも既にバッチリなようなので、是非とも頑張ってもらいましょう！
次に公式戦について。ＦＣ岐阜ユースは２０１１年度岐阜県の高校世代のリーグ戦である「Ｇ３リーグ」及び「Ｇ２参入戦」を勝ち抜いた事により、２０１２年度は「Ｇ２リーグ」で戦うことになります。まだ県協会からの正式発表が無いので確定ではありませんが、例年通りであれば１０チームによる一回総当りのリーグ戦を行い、上位２チームがＧ１リーグへ自動昇格、下位４チームがＧ３リーグに自動降格となります。是非とも１年でＧ１リーグに昇格して貰いたい物です。多分４月からリーグ戦が始まると思います。県協会の中の人、早く発表して下さいね。
そしてこれまた例年通りであれば４月下旬から始まる「日本クラブユース（Ｕ－１８）サッカー選手権」にも参戦する筈です。こちらは東海地区（岐阜・愛知・三重・静岡）で１次予選リーグを実施し、その上位チームが２次トーナメントに進み、ここも勝ち進めば全国大会に出場する事が出来ます。昨年は予選リーグを勝ち進み、２次トーナメントの１回戦も見事突破しましたが、準決勝で涙を飲みました。こちらも今年は期待大です。ユースの平田監督とは昨年中に「来年は絶対に全国大会に連れて行って下さいね」と男と男の約束をしてあるから、きっと全国大会に連れて行ってくれる事でしょう（しまった、指切りしておけば良かった！?）
今年も頑張る君達を応援して行きますよ。
ＦＯＲＺＡ！ＦＣ岐阜ユース！！（シュナ）

2/21：キックオフパーティー開催。

●2/21（火）に岐阜グランドホテルで開かれた、2012ＦＣ岐阜キックオフパーティー。スポンサーをはじめ、サプライヤーや株主の皆様、後援会や個人持株会の会員など、約２００名が出席して開催された。前回と比べると少し寂しい人数だったような気もしたが、それも昨年の成績を考えると仕方がないかな、とも（苦笑）。しかしというか、だからというか。細江岐阜市長が自ら出席しての挨拶は「背水の陣で臨んでほしい」と、手厳しいながらも今シーズンへの期待と情熱のこもったものだったし、岐阜県・江崎商工労働部長からの挨拶では、「ビジネスモデル（企業）としてのＦＣ岐阜に成功して貰いたい」との要望も。
選手たちの挨拶にも、昨シーズンのリベンジや決意を語るものが多かった。これまでなら、もう少し笑いをとりに行く選手がいると思うのだが（苦笑）これも選手・スタッフが大幅に入れ替わって、良い意味でピリピリした雰囲気が出ているからなのかな、と。圧巻だったのは、やはり服部キャプテンの挨拶。「僕らはプロですから、頑張るのは当たり前。その上で、皆さんが『まだ頑張れていない』と感じたら、叱ってください。『頑張ってるな』と感じたら、誉めてやってください。今年１年間、一緒に戦いましょう」…のような内容だったかな？ともかく、僕個人としては、選手に「応援よろしくお願いします」じゃなくて「一緒に戦いましょう」なんて言われると、ジーンと来てしまう。ましてや、それが服部選手ぐらいの大ベテランともなれば尚更だ。
また、中締めでの個人持株会・中西理事長の「サポーターもスポンサーも共にハッピーな関係に」という言葉には、僕らサポーターも、もっとスポンサー等がメリットを感じられるように行動しなくてはいけないなぁ…と考えさせられた。
今年のリベンジを誓ってくれたＦＣ岐阜。（今年はあるのかな？）夏場の「サポーターズパーティ」やシーズン後の「サンクスパーティ」では、みんなが笑顔（ニヤケ顔？）でいるような、そんなシーズンにしてほしい。（ささたく）
●やはり、周囲の目は年々厳しくなってきている……。先日行われた２０１２キックオフパーティーは冒頭の来賓あいさつから注文のキツイ、激励というよりは檄に近い言葉の連続。その内容は多岐に渡り、岐阜の歴史がひも解かれたり、現在の経済状況を踏まえた提言があったりして、目からうろこが何枚も落ちたような気がした。中でも、不況や円高で業績が云々と巷間言われているが、この中部地方では業績を伸ばしている企業が多い。要は、現状をキチンと捉えて旧態依然とした部分を改め、新しいことに挑戦する気があれば道は開けるという話は（意訳）、当たり前といえば当たり前なんだけど、クラブにとっては耳の痛い話というか、含蓄のある実に的を射た内容だったと思う。もちろん、それはフロントだけにとどまらず、クラブに関わる者すべてが意識していかなければならないことでもある。
乾杯の後は、いつもどおり選手、スタッフが各テーブルに分散し歓談するスタイル。もちろん、記念撮影やサインにも気軽に応じてもらった。ボクのテーブルには井上平選手と中島康平選手。井上選手はさすがに経験豊かというか、こういうパーティーにも場慣れた様子。対して中島選手の初々しさが微笑ましかった。Ｊリーグ初となる台湾キャンプの感想や、その後の宮崎キャンプとの比較についても興味深い話が聞けた。また、井上選手には「岐阜はまだ一度も東京Ｖに勝ってないんで、ゼヒ今季こそ勝利を！」と懇願（笑）。それに、今季のアウェイ・東京Ｖ戦は岐阜にとって初めて国立競技場（正式には国立霞ヶ丘競技場。『国立の』競技場での試合という括りなら西が丘で経験済み）なので、古巣への恩返しゴールを決めてもらって勝利の喜びを分かち合いたいですねと重ねてお願いした。わずかな時間ではあったけれど、プレースタイル同様クレバーな印象。気の利いたコメントが余裕を感じさせてくれて、なんか惚れたかもしれない（爆）。
中島選手は、前述の通り初々しさというか井上選手とは反対にこういった場に慣れてない感がありありだったけれど、ボクとは少し共通点があるし、まじめそうな人柄にも好感が持てたので新人選手の中では特にアツく応援したくなった。他の選手では隣のテーブルにいた地主園選手にも台湾キャンプの感想などを聞いてみたが、前の二人と同じ答えだったのが笑えた。まぁ、詳しいことは書かないけれども、そりゃあ宮崎ではみんな重め残りになるハズだよね、と。
クラブを取り巻く状況は相変わらず厳しいけれども、会場内での選手、スタッフの雰囲気からはいいキャンプが過ごせた、多少なりとも手応えを得られたかのような落ち着きが感じられた。むろん、過信はできないけれども、少なくとも、去年よりは一歩でも積極的に関わっていきたい、いかなきゃならないと思えただけでも決して安くはない参加費を払ってパーティーに参加した甲斐があった。今季への期待が膨らむ楽しいひとときだった。（ぐん、）

2012シーズンに向けて。

●３ヶ月のオフも終わり、いよいよ新しいシーズンを迎える。
昨シーズンは最下位という屈辱を味わい、多くの選手がチームを去った。そして入れ替わりに多くの新戦力が加わった。
その中でもやはり特筆すべきは服部年宏の加入であろう。よくぞ岐阜に来てくれたと本当に思う。永年に渡る豊富な経験を若い選手たちに伝えていってもらいたい。あとは池田昇平の加入も大きいだろう。清水で行徳新監督と一緒にやっていたこともあり、行徳さんがどんなサッカーをやりたいのか熟知しているだろう。その他の選手も派手さはないけど、着実な補強が出来ているのではないかと感じる。
先日のジュビロ磐田とのプレシーズンマッチ、自分は所用があって見に行けなかったが１－０で勝利した。内容はともかく勝って開幕を迎えられるのは気分の良いものである。
財政難や胸スポンサーがないなど、相変わらずチームを取り巻く環境は厳しい状況ではあるが、選手たちのひたむきなプレーが見られることを期待している。そしてここ長良川でたくさんの感動を多くのサポーターと分かち合いたい。（岐阜の誇り）
●いろいろ大変だった2011、それが、PSMの勝利でキレイさっぱり洗い流せるワケじゃない。それでも、アノ勝利がもたらしてくれたのは、終了の笛が鳴るまで諦めず、耐え抜いていけばどこかで道は開かれるということではないか。
残念ながら、昨季は結果も得られず拠り所もない中でピッチの上でも、ベンチでも、そしてスタンドでも、不安に駆られたまま時間を経過させていたんじゃないだろうか。リードされている場面はもとより、まだイーブンな状態でも相手にボールを持たれているだけで落ち着かない。早くゴールがほしくて意志の疎通を欠いた無理な攻撃を仕掛けては自滅の繰り返し。自由という名のプレッシャーに押しつぶされたようなシーズンと比べれば、磐田戦は多くの幸運に恵まれたとはいえ、味方を意識した戦い方をしようという統一した意識が感じられた、と言ったらひいきの引き倒し過ぎだろうか（苦笑）。
最後まで自分を、仲間を信じて勝利をめざす。あたりまえのことだけど、これを具現化したような試合を、実はこの年明けに目の当たりにすることができた。ウチの試合じゃないんで恐縮だが、高校選手権の決勝戦がまさにそれだったと思う。ご存知の方も多いだろうが、優勝した市立船橋は開始１分で四日市中央工に先制された。しかし、その後の８９分＋アディショナルタイム３分までリードを許しながら、また途中の決定機を逃しても自分たちのリズムとやり方で戦い続け、ついにタイムアップ直前に追いついた。実際、いつ終了してもおかしくない、というより示された時間は経過しており、ホントならとっくに笛が吹かれていなければならない状況に見えた。にもかかわらず、笛が吹かれなかったのは市船の攻撃が、戦い方がそれをためらわせたのではないかとすら思えてくる。最後まで自分と仲間を信じて戦い続けること。それをやり抜くために、どれほどの練習を積み重ねたのか想像がつかないし、ボクにはできない。けれども、終了の笛が吹かれるまで諦めない気持ちや姿勢なら、ボクにも貫けるはずだ。選手には今まで以上にひたむきに戦ってほしいが、自分も同じ気持ちで彼らを鼓舞していきたい。それがアツくスタジアムの中に充満して、主審が笛を吹くのをためらうくらいの雰囲気を作ることができたら……。
もちろん、試合の楽しみ方やスタンスはそれぞれだ。人様にとやかく言うつもりはみじんもない。自分自身がどれだけやれるか、やりきれるか。とにかく、先を見ないで今季に臨んでみます。（ぐん、）

編集人から一言。

●JFL時代から発行している『岐大通』もシーズン６。ここのところフォーマットも固定気味だったこともあり、第１面に関して少々手を加えてみました。これまでは「前節、あるいは前々節の感想」ばかりだったのを、今節に対戦するチームのことをちょっぴりサポ目線で書いてみたのですが、いかがでしょうか。
今シーズンの日程を見ると、この構成を１年続けるのは結構ホネだなあ～とは思うのですが、クラブが体制一新で臨む2012シーズン、我々サポも変わろうじゃないか！との決意で、がんばります。ご期待ください。どきどき。

『岐大通』製作委員会
編集担当：吉田鋳造
印刷担当：ささたく

FC岐阜 2012 応援ソング チャント サポートソング集

LastUpDate 12/03/04

■チームコール【試合開始前】

※試合が始まります。みんなで手拍子をしてスタジアムを盛り上げましょう。

オーイ！●●●、オーイ！●●●、
オイ！●、オイ！●、オーーフォルツァ岐阜！

■チームチャント【選手入場時】

※タオルマフラーや旗、ゲートフラッグ等を掲げて選手を迎えましょう。

■日曜日よりの使者（ザ・ハイロウズ/日曜日よりの使者）
We are 岐阜　We are THE GIFU ラララー ラララララー
We are 岐阜　We are THE GIFU ラララー ラララララー（ギ・フ！）

■チームコール

1） FC岐阜コール・その1 【通常】
エフ！、シー！、ギフッ！！●　●　●●●
2） FC岐阜コール・その2 【チャンス後】
ギーフッ●●●ギーフッ●●●ギーフッ●●●ギーフッ
3） FC岐阜コール・その3 【チャンスシーン】
ゴール！、ゴール！、エフシぎっふ！●●
4） FC岐阜コール・その4 【WE ARE GIFU】 NEW!
ウィー　アー！ 岐阜！●●　●●　●

■得点時チャント

■ゲットゴール！！
ラララーララ　ラーラー　ラララー
ラララーララ　ラララー　ラーラー
ラララーララ　ラーラー　ラララー
ラララーララ　ラララー　ゲット　ア　ゴール！

■手拍子

1） 手拍子・その1
●　、●●　、●　●　●●　、オイッ！
2） 手拍子・その2
●　●　●●●、●●●●　ギフッ！！

■タオル振りチャント

※みんなでタオルや旗を振りながら歌いましょう。

■モリヤマ（CULTURE CLUB/Karma Chameleon）
エーフ シー ギーフ　ゲットゴール！
ゲットゴール　ゲットゴーォーール！
■ネットを揺らせ（郷ひろみ/誘われてフラメンコ）
ネットを揺らせユーラユーラ　ネットを揺らせユーラユーラー

■チームチャント

■FC岐阜 We Love You（水森亜土/すきすきソング）
オッオッ オーォォ オッオッオーォォ オォォォォー（エフシー ギフ！）
オッオッ オーォォ オッオッオーォォ オォォォォー（エフシー ギフ！）
FC岐阜　FC岐阜　We Love You（オイ！オイ！オイ！オイ！）
■エンターテイナー（S.JOPLIN/The Entertainer）
オー　オォーォォーォォー　Oh　エフシ岐阜アーレー
オー　オォーォォーォォー　Oh　エフシ岐阜アーレー
さぁ　胸を張って　戦おうぜ　緑の勇者（ゆうしゃ）　アーレー
■ナダレ（Vago y Atorrante）
バモ岐阜バモ　友よ　さあ行こう　ナダレろ　暴れろ　われらと
熱い気持ち　バモ岐阜バモ　いざ　今戦おう
■誇り胸に（Hay che bostero）
俺達が　共にいる　どんな時も　お前と
今ここで　みせろ岐阜　誇り（ほこり）胸に　戦え
■漢なら（オリジナル）
共にいこうぜ　われらと　ラララ ラーラーラ ラーラー
共に闘え（たたかえ）　われらと　ラララ ラーラーララー
勝利をつかめ　きみが漢（おとこ）なら
バモ　バモ　GOLAZO（ゴラッソ）！　ラララ ラーラーララー
■情熱を胸に（オリジナル）
燃えたぎる情熱（じょうねつ）をー　その胸に持ち　戦え
恐れず（おそれず）　前を向き　ゴールを奪え（うばえ）ー
■我ら岐阜（İsmail Hakkı bey/トルコ軍隊行進曲：Ceddin Deden）
WE ARE GIFU　WE ARE GIFU　ララーラ　ラララララー
おお友よ　いざゆかん　時が今ここに
さぁ誇り（ほこり）高き　われら岐阜
■ラララ岐阜（フライブルク）
ラーララーラーラー　ラーララーラーラー
ラーララーラーラー　ラーララーラ　ラーラーラ　岐阜！
■Boys In Green（Basshunter/I can walk on walter, I can fly）
魂（たましい）尽きる（つきる）ーまで　駆けろ（かける）星へ友よ
勇気（ゆうき）胸にー抱き（だき）　信じてーいるBoys In Green
（＊）最初はこの歌詞で拍手し、次は「ラ」で歌い跳ねる。繰り返し

■輝く聖地 NEW!
ここはオレらの長良川　何も恐れることないのさ
La 長良川　輝く聖地　オレたちと共に行こう
アレアーレオー アレアーレオー　アレアーレオー アレアーレオー
■ザンクトパウリ NEW!
ラララーラ ラーラ ララ　ラララーラ ラーラ ララ
ラララーラ ラーラ ララ　フォルツァ 岐阜 フォルツァ 岐阜
■アレ岐阜
アレアレー アレアレー　アレアレ岐阜アーレー
アレアレー アレアレー　アレアレ岐阜アーレー
■アツく闘え
オーオー オォォォ 友よ　さぁ　俺達と共にー
オーオー オォォォ 友よ　アーツく 闘えー
■俺たちと共に（オリジナル）
オーオー　エフシー岐阜　おーれーたーちと　とーもにー
オーオー　エフシー岐阜　すべてをかけー　たたかえー
■FORZA　FC岐阜
ラーラ　ラーララーラ　ラーラー
ラーラ　ラーララーラ　ラーー
フォルツァ　FC岐阜！　フォルツァ　FC岐阜！
フォルツァ　岐阜　フォルツァ　FC岐阜！
■アイーダ（凱旋行進曲）（Giuseppe Verdi/Grand March (from aïda)）
オーオー オォオオッオッオッ オォオオーオオー オォオーオオー
FC岐阜！　FC岐阜！　FCぎーーーっふ！
■シャナナ（MINMI/シャナナ）
ララララララー　ラーラー　ラーラーラー　岐！阜！
ララララララー　ラーラー　ラーラーラー　岐！阜！
■SUNRIZE GREEN（LINDBERG/SUNSET BLUE）
行け　行け　われらが　FC岐阜
We are GIFU, We love GIFU, Let's Go！　FC岐阜
行け　行け　われらが　FC岐阜
支え続けーるから　（オイ！オイ！オイオイオイオイ！）

■個人チャント

1 野田 恭平（JAM Project/牙狼～SAVIOR IN THE DARK～）
たーてー！　修羅（しゅら）のごとくー　恭平　おーまーえーと
今　絆（きずな）胸にー　恭平オーレ
2 野田 明弘 NEW!
明弘 野田　明弘 野田　ラーラ ラララ ラー
明弘 野田　明弘 野田　ラーラ ラララ ラー
3 池田 昇平
4 田中 秀人（B-DASH/人造ライダーイマーン）
田中秀人　ラララーラーラーラーララー
田中秀人　ラーラーラーラララララー
5 川島 眞也
かーわーしーま　しんやオーレッ！
6 服部 年宏
7 地主園 秀美 NEW!
地主園秀美　地主園秀美　地主園秀美　俺達と共に
8 李 漢宰
9 梅田 直哉
11 染矢 一樹（ガガガSP/つなひき帝国）
ゆけーゆけー　バモ染矢　ゆけーゆけー　バモ染矢
岐阜の韋駄天（いだてん）　バモ染矢　オーレッ！！　バモ染矢
14 井上 平 NEW!
オーオー　タイラ　井上タイラ　タイラ　ゲットゴール　タ・イ・ラー
15 山崎 正登
16 金 東權
17 野垣内 俊
18 佐藤 洸一（東京スカパラダイスオーケストラ/White Light）
佐藤洸一　オーレ　佐藤洸一　オーレ
佐藤洸一　俺たちの洸一　オーレ
19 冨成 慎司（thee michelle gun elephant/ジェニー）
トミー　トミー　俺たちと　走り抜けろ　トミー
20 三田 光
21 村尾 龍矢
22 多田 大介
23 橋本 卓（Ellegarden/Marry me）
橋本オレ　緑のマタドール
24 村上 一樹
25 関田 寛士
26 阪本 一仁 NEW!
阪本　阪本　バモカズト 阪本
27 中島 康平
28 ブルーノ NEW!
ブルーノ ブルーノ ブルーノ　ブルーノ ブルーノ オォー
ブルーノ ブルーノ オォー　ブルーノ ブルーノ オォー
29 廣田 隆治
30 尾泉 大樹
31 時久 省吾

■勝利のチャント ※試合に勝った喜びを、高らかに歌いましょう。

■勝利の賛歌（オリジナル）
WE ARE GIFU　共に　われらは　歌う
WE ARE GIFU　ここに　勝利の　賛歌（さんか）を
緑の友を　われらは誇り（ほこり）
歓喜（かんき）の叫びで　大地よ震えろ（ふるえろ）
勇ましき（いさましき）　われら岐阜　絆（きずな）よ 永久（とわ）に　オー